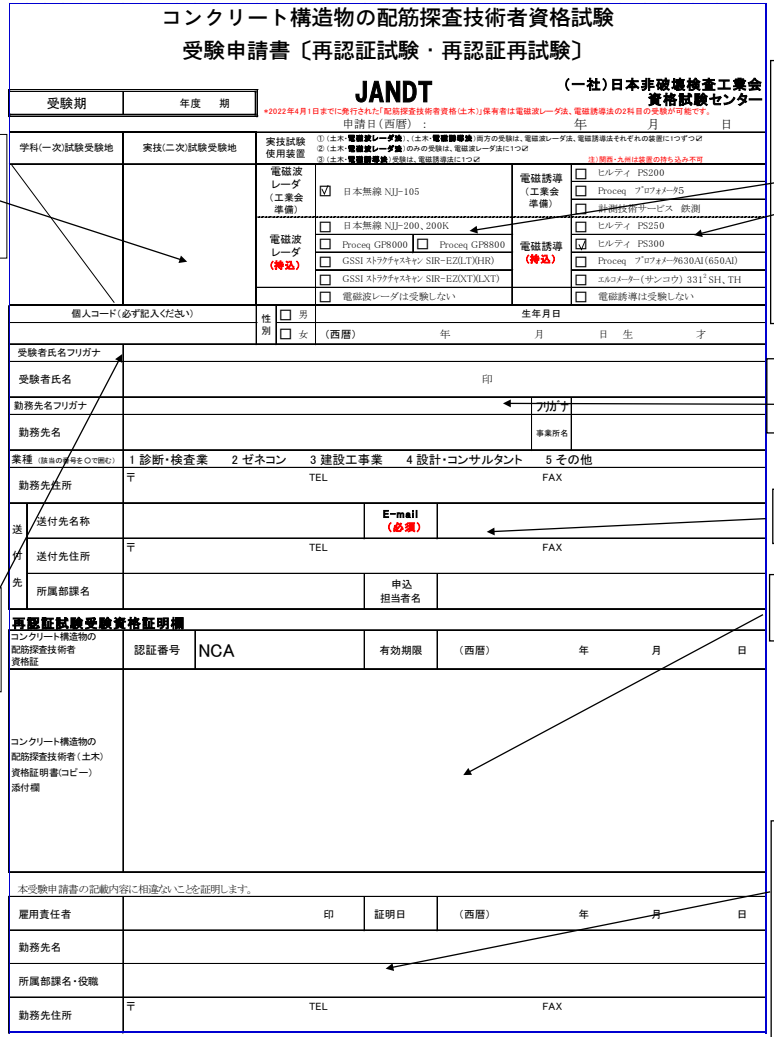
再認証試験受験申請者用

◆ 受験申請書を送付する前にお読み下さい ◆

受験申請書の記入にあたり、見落としやすい事項(不備になりやすい事項)を下記にまとめました。不備事項があると受付ができない場合がありますので、申請書を送付する前に、この用紙をもとに申請内容をもう一度確認してください。ここでふれていない事項は必要に応じ記入してください。

■再認証試験(実技)受験地を記入していますか？
受験地は必ず日程表で確認してください。
(装置の持ち込みは九州以外となります。)

■ 配筋探査技術者資格証に記載された個人コードを記入



コンクリート構造物の配筋探査技術者資格試験
受験申請書〔再認証試験・再認証再試験〕

JANDT
(一社)日本非破壊検査工業会
資格試験センター
*2022年4月1日までに発行された「配筋探査技術者資格(土木)」保有者は電磁波レーダ法、電磁誘導法の2科目の受験が可能です。

受験期 / 年度 期 / 申請日(西暦)： 年 月 日

学科(一次)試験受験地 / 実技(二次)試験受験地

実技試験使用装置
①(土木:電磁波レーダ法)、(土木:電磁誘導法)両方の受験は、電磁波レーダ法、電磁誘導法はそれぞれの装置につづつ
②(土木:電磁波レーダ法)のみの受験は、電磁波レーダ法につづ
③(土木:電磁誘導法)受験は、電磁誘導法につづ
注)関西・九州は装置の持ち込み不可

電磁波レーダ(工業会準備)
☑ 日本無線 NJJ-105

電磁誘導(工業会準備)
☐ ヒルティ PS200
☐ Proceq プロフォメータ95
☐ 計測技術サービス 鉄測

電磁波レーダ(持込)
☐ 日本無線 NJJ-200、200K
☐ Proceq GP8000 ☐ Proceq GP8800
☐ GSSI ストラクチャスキャン SIR-EZ(LT)(HR)
☐ GSSI ストラクチャスキャン SIR-EZ(XT)(LXT)
☐ 電磁波レーダは受験しない

電磁誘導(持込)
☐ ヒルティ PS250
☑ ヒルティ PS300
☐ Proceq プロフォメータ630AI(650AI)
☐ エルコメーター(サンコウ) 331ˢˢSH、TH
☐ 電磁誘導は受験しない

個人コード(必ず記入ください) / 性別 ☐男 ☐女 / 生年月日 (西暦) 年 月 日 生 才

受験者氏名フリガナ
受験者氏名 印
勤務先名フリガナ / フリガナ
勤務先名 / 事業所名
業種(該当の番号を○で囲む) 1 診断・検査業 2 ゼネコン 3 建設工事業 4 設計・コンサルタント 5 その他
勤務先住所 〒 TEL FAX

送付先
送付先名称 / E-mail(必須)
送付先住所 〒 TEL FAX
所属部課名 / 申込担当者名

再認証試験受験資格証明欄
コンクリート構造物の配筋探査技術者資格証 / 認証番号 NCA / 有効期限 (西暦) 年 月 日
コンクリート構造物の配筋探査技術者(土木)資格証明書(コピー)添付欄

本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。
雇用責任者 印 / 証明日 (西暦) 年 月 日
勤務先名
所属部課名・役職
勤務先住所 〒 TEL FAX

■ 実技(二次)試験で使用する電磁波レーダ及び電磁誘導装置をそれぞれ1台ずつ選び、レ点を記入して下さい。(装置の持ち込みは関東、大阪での実施となります。九州は持込受験不可)

※ 申請書提出後の変更はできませんのでご注意下さい。

■ 受験者本人の印鑑は押していますか？

■ e-mailアドレスは必ず記入

■ **「配筋探査技術者資格証」のコピーを添付**

■ 事業責任者証明欄は、すべて記入していますか？

※ 自営で事業責任者が受験者本 人である場合、または個人で申込む場合でも、事業責任者証明欄は必ず記入しなければなりません。「受験申請実施案内」の事業者の遵守事項をよく読んだ上で、個人の責任のもとに記入してください。